

令和7年8月定例教育委員会会議録

令和7年塩尻市教育委員会8月定例教育委員会が、令和7年8月21日、午後1時30分、塩尻総合文化センター2階大会議室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について
報告第2号 9月の行事予定等について
報告第3号 後援・共催について

4 その他

- その他第1号 令和7年度 全国学力・学習状況調査結果の公表について

5 閉 会

○ 出席委員

教育長	佐 倉	俊	教育長職務代理者	碓 井 邦 雄
委 員	甕	剛	委 員	八 島 思 保
委 員	小 松 裕 美			

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	百 瀬 一 典	交流文化部長	上 條 史 生
こども教育部次長 (こども未来課長)	竹 中 康 成	交流文化部次長 (社会教育スポーツ課長)	上 村 英 文
学校教育課長	上 條 崇	平出博物館長	小 松 学
教育施設課長	五 味 克 敏	市民交流センター 長(図書館長)	矢 澤 昭 義
保育課長	塩 原 清 彦	文化財課長	古 畑 比 出 夫
国民スポーツ大会 推進室長	長 島 峰 行	主任学校教育指導 員	小 林 順 一

○ 事務局出席者

教育企画係長	浅 川 忠 幸
--------	---------

1 開会

佐倉教育長 皆さん、こんにちは。立秋が過ぎ、朝方大分涼くなりましたが、日中や晩はま

だまだ暑い日が続いています。この夏休みの間、子どもたちに関わる大きな事故の報告は入っていません。有意義な夏休みを過ごしてくれているものと思っています。

市内の小中・義務教育学校 14 校のうち 6 校が明日から 2 学期、授業が始まります。そのほかの学校も来週から始まりまして、27 日には全ての小中学校が始業します。まだまだ残暑は続きます。子どもたちには健康安全に十分注意しながら、実りの秋に向け音楽会、文化祭などの行事や日々の活動の充実に力を入れていってほしいと思っていますところです。

それでは、ただいまから 8 月の定例教育委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

本日は、先日御通知させていただきましたとおり、この後の定例教育委員会・協議会終了後に赤井友美塩尻市キャリア教育アドバイザーと意見交換を予定しているため、本会議についてはおおむね 14 時 30 分頃の終了を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

2 前回会議録の承認

佐倉教育長 それでは、次第に従いまして 2 番、前回会議録の承認について、事務局からお願いいたします。

浅川教育企画係長 前回、7 月定例教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。以上です。

佐倉教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

佐倉教育長 それでは、そのようにお願いいたします。

3 教育長報告

佐倉教育長 3 番、教育長報告に入ります。私からは 2 点報告いたします。

1 点目です。先月下旬から 8 月上旬にかけて教育長保育園訪問を行いました。私も含め、百瀬こども教育部長、塩原保育課長、3 名で公立保育園 15 園、認定こども園など 7 園、計 22 園を訪問しました。どこの園も、この時期ですので、子どもたちが水鉄砲で水をかけ合うなど、プールでの水遊びに夢中になって取り組んでいる姿が見られ、本当に楽しそうでした。猛暑の中でしたが、日よけを使って日陰をつくったり、活動時間を短めにしたりするなど、安全な活動になるよう配慮をいただいております。

また、この猛暑の中での屋内活動について、リズム室に空調設備を設置していただいたおかげで、子どもたちの活動の幅が広がって本当にありがたいと、そういった声をたくさん頂きました。このことについては、児童館からも同様の声を頂いております。

幾つかの園で、子どもたちと一緒に給食も頂きました。子どもたちが畑で育てたキュウリやトマト、枝豆など夏野菜を使って給食室で調理をしていただいたり、給食室の先生方に食材の説明の資料を掲示していただいたりするなど、各園、食育にも力を注いでいただいております。子どもたちも、自分たちが育て収穫した野菜ですので、私たちに誇らしげに説明して、おいしい、おいしいと言って本当に元気よく食べていました。

園内を見学させていただいた後、園長先生、園長代理の先生方と懇談する中で、多くの園

が、園と保護者との情報共有、また、ネットワークづくりなどに力を入れていることが分かりました。中でも、保護者の方に半日程度保育体験をしていただくママ保育、パパ保育に取り組んでいる園が幾つかありました。保育を体験していただく中で、子ども同士の関わりの様子を見ることができたり、給食や着替え、ものの準備、片づけを行う子どもの姿に、様々な気づきがあったりしているとのことでした。また、保育士の先生方大変さを実感して、感謝の声も寄せられているとのことでした。

このほかにも各園の取組の良さや課題を知ることができましたので、事務局内で共有・確認をし、今後に生かしていきたいと思っております。

2点目です。戦後80年という節目の年、本市において8月11日に保健福祉センターで平和祈念のつどいが開催されました。平和祈念講演として長崎で被爆された橋本富太郎さんによる講話と、市の広島平和教育研修に参加した市内中学校6校代表の12名から研修報告が行われ、多くの市民の皆様が会場に集まりました。

橋本さんは、「記憶はないが、記録はある。知ることによって越えられる」と題して御自身の被爆体験や父母が残した手記などから事実を伝え、二度と被爆者をつくらない、核を使わせない。そのために学んでください。学ぶことで進む方向、答えが見つかりますと被爆者としての願いを語られていました。

広島平和教育研修に参加した生徒たちからは、全国平和学習のつどいに参加し、今、平和でない状態とはどのようなことがあるか、それはどうしたら解決できると思うかをテーマに、全国から集まった中高生と意見を交わし合ったと報告があり、相手の気持ちを考えたり、違いを認め合ったりすることが大切、そして、人を思いやる心が世界中に広がったとき、戦争を止めることができると、自分の考えをまとめた生徒の発表がありました。

このほか生徒たちからは、原爆の子の像への折り鶴奉納や、平和記念資料館見学、平和記念式典への参加を通して感じたことが語られ、二度と同じ過ちを繰り返さないように、私たちが被爆者や遺族の方々の思い、原爆の悲惨さを語り継いでいきたい。そのように行動することで平和をつくり上げていきたいとの決意が述べられました。このような生徒の姿に触れ、今後も広島平和教育研修、平和祈念のつどいの場を大切にしていきたいと感じたところであります。

以上で私からの報告は終わります。委員の皆さんから御質問、御感想、他の行事等の報告がありましたらお願いいたします。

碓井教育長職務代理者 今、教育長からお話がありました平和祈念のつどいに、私も参加させていただきました。今年は被爆者体験講話ということで、長崎で被爆された方のお話を直接お聞きすることができて、非常に貴重な体験をすることができました。

教育長からもあったのですが、広島での平和教育研修に参加した中学生の皆さんは、現地で全国平和学習の集いに参加して、全国の中学生同士でグループディスカッションをされたようで、多くの参加者が報告の中でそれに触れていて、それぞれの考えを深められたというような様子がよく分かりました。そのために、日程的には、1日目は午後7時頃まで研修という大変厳しい日程になったかなというふうに思いますけれども、得るものは多かったのではないかと、発表をお聞きして思いました。

私自身も参加させていただいて、平和の尊さとか、特に中学生が発表してくれたなかにありましたが、利他的な考えを積み上げることの大切さ、そういうことを改めて学ばせていた

だく大変良い場となりました。

続いて、教育長から夏休みが終わり明日から何校か学校が始まるというお話がありましたけれども、私からは夏休みの子どもたちの居場所や体験等についてお願いしたいと思います。最近の小中学校の夏休みの日数は増加傾向という感じを私は持っているわけですが、以前行われていた夏休みの学校プールはありませんし、ラジオ体操も縮小傾向で、今年の私の地区のラジオ体操はありましたけれども、1日でした。そのような状態でありますので、子どもたちは大変長い夏休みをどんなふうに過ごしているのかなと思って、この休み中、公民館の活動とか児童館等、可能な範囲で子どもたちが活動している場所に行ってみました。その感想も含めて少し触れさせていただきたいと思います。

公民館で行われた活動については、前回の定例教委で小松委員からお話がありましたけれども、私の地元高出公民館では、8月4日、5日の2日間にわたって小学生中心に「なつやすみ学習ひろば」が行われました。私も2日間、地域ボランティアの一員として、この活動に参加させていただきました。この「なつやすみ学習ひろば」の定員は両日とも50人で、原則1人1日のみの参加という制限があったのですけれども、両日とも満員でありました。

日程については、午前中は学習中心で、午後のはかるた等の体験活動が準備されておりました。昼食は、両日とも社協や地域ボランティアの皆さんが作ってくださったカレー等が無料で提供されました。ただ、昼食作りをする公民館の調理室はエアコンがなくて、ボランティアの皆さんが、汗だくで準備してくださったので、エアコンについては前回の定例教委でも申し上げましたけれども、夏に活動する場には必要ではないかと改めて思いました。

また、学生ボランティアとして2日間、延べ二十数名の都市大塩尻高校の生徒の皆さんが来てくれました。生徒たちは、学習支援はじめ、どの活動でもとても丁寧に子どもたちと関わってくれて、その交流の姿を見ていると、本当に温かい気持ちを私は持つことができました。

そのほかですけれども、高出公民館では7月末に子どものお菓子作りの講座が行われて、広丘の雲居鶴という店の方が来てくださって、参加した子どもたちは本格的な和菓子作りを楽しんでいました。

また、8月6日にえんてらすで行われた中央公民館のサマースクール公民館も参観させていただきました。私は、プラネタリウム工作と金魚の飾り作りを見ましたけれども、どちらの講座も盛況で、子どもたちが楽しんでいる姿が印象に残りました。プラネタリウム工作は定員50人に対して100人ほど応募があったとお聞きしましたし、金魚の飾り作りの講座には、不登校のお子さんが複数参加していて、市の子と親の相談員の方も伴走支援という形で来てくださっていました。

公民館の活動については、このような場面を見せていただきました。公民館の活動は、地域によってかなり違うとは思いますが、年々夏休みに欠かせない子どもたちの居場所や体験の場になってきているなと思いました。また、子どもや保護者の皆さんにとっても大変価値の高い場所になってきているのではないかと私は思います。

それから、児童館・児童クラブについても参観させていただきました。私が見させていただいたのは、広丘児童館・児童クラブですけれども、そこには毎日130人から160人くらいのお子さんが来て利用しているということで、私が行った日も大勢の子どもたちでにぎわっていました。

利用者については、高学年のお子さんも結構多くて、私が参観させていただいた日は、高学年の子どもたちは隣にある短歌館の会議室で過ごしていました。ちょうど競技かるたの体験をするということで、指導者の方のもとでみんな熱心に取り組んでいる姿がありました。

館長のお話では、児童館の環境面でエアコンがほとんどの部屋に設置されて、快適さは改善したということで、先ほど教育長からお話がありましたけれども、私もよかったなと思いました。ただ、長期休みのときは、朝8時から夜の7時まで利用するお子さんや、休み中ほぼ児童館で過ごすというお子さん等おいでになるということです。この広さの児童館にこれだけの子どもたちが長時間また長期間生活するというのは、子どもたちにとっても指導支援する先生方にとっても大変だろうなという感想を持ちました。

夏休み中の子どもの居場所や体験等について感じたことは以上でありますけれども、公民館の活動の中で、何人かのお子さんに休み中の居場所を聞いたときに、公民館等のイベント以外は家でゲーム中心に過ごすということが多いというような声もあって、少し心配になりました。夏休みは基本的に学校から子どもを家庭にかえすということになるわけですが、プールやラジオ体操など、今までの活動がなくなっている分、家庭での過ごし方は様々になるというふうに思います。それはそれで各御家庭の方針でいいわけですが、体験等の差が気になってくるところであります。

続いて、質問を2点お願いしたいと思います。1点目は広丘の児童クラブについて、1人当たりのスペースは基準をクリアしているかどうかという点について、それから他の児童クラブは、そういう点については大丈夫なのかという点、これが1点目です。

それから2点目は、広丘の児童クラブが短歌館を子どもたちの居場所とした経緯、そして今後の方向について。以上2点質問させていただきたいと思いますので、お願いいたします。

上條学校教育課長 広丘児童館・児童クラブにつきましては、1年を通してピークのときがあります。平均を取ると、基本的には、今の施設で充足している状況でありますけれども、広丘児童館のピーク時、特にゴールデンウィーク明けや夏休み前後では、定員を超える日が数日あるものですから、短歌館を利用させていただいているという状況にあります。実際、昨年度、エアコンを遊戯室まで設置させていただいて、それまでは遊戯室にはなかったものですから、夏場の利用には大変苦慮したところがあり、短歌館利用を検討していた経過がございます。今年度、使い方を広丘児童館と短歌館と詰める中で、長期休みの一部期間に利用するという形で実現した経過がございます。

あと、ほかの児童館、児童クラブについては、一応、定員に対してそれ以内に収まって、子どもの居場所スペース等も確保されているという状況になってございます。

碓井教育長職務代理者 ありがとうございます。社会が変化してきているので、児童館は今後さらに子どもたちの大切な居場所になっていく、そんな方向ではないかなということを私は思います。運営面では、いろいろ工夫してやっただいているわけですが、現場の声も聞いていただいているとは思いますが、ぜひ現場の声等も大事にしながら、子どもたちの居場所として、さらにいい場所になっていくようにお考えいただければと思います。

佐倉教育長 続いていかがでしょうか。

八島委員 夏休み期間中、様々なイベントや体験会、研修会などの行事があったかと思います。とても興味深い内容がたくさんありました。時間の関係上、あまり足を運ぶことができず、大変残念に思っています。

私が代表を務めております社会貢献サークルダスクのイベント依頼も数件ありまして、地域やデイサービスなどで開催された、夏祭りや、先ほど碓井職務代理のお話のもありましたが、公民館を活用した居場所づくりなどの支援活動に参加させていただきました。

生徒の自主企画ブースも行い、夏休み期間中は、イベントボランティアに延べ 42 名の中学生が参加をしました。自主活動では、フルーツポンチを作りや、タピオカジュースを予算立てから、販売人数と分量を計算するなど、試行錯誤を行いました。あいにく、デイサービスの花火大会は、天候不良であり室内での開催、販売となりました。また、活動中に多少のアクシデント等もありましたが、メンバー内で助け合いながら、とても楽しく、地域の方とコミュニケーションを取りながら行っていたと思います。

次に、小坂田公園に何度か立ち寄らせていただきました。早朝に立ち寄ることが多かったのですが、制限のない遊具に関しましては、全て体験をさせていただきました。また自然博物館にも拝観させていただきました。通常でありますと、6月、7月は、600 から 1,000 人程度の来館者がいると受付の方にお聞きましたが、今回無料期間でもり、既に 3,000 人以上超えてた来館者であり、とても繁盛であるということでした。

館内にある昆虫の剥製ですか、剥製は背中側から見るのが一般的な展示ですが、腹壁側からも見る事ができ、一方方向でない感覚を養える感じが興味深いと思いました。写真展でも館内にありまして、柴田直明さんの作品が飾られていました。小さな仲間の日常がフォーカスされており、動物の繊細さといいますか、ダイナミックスさが激写されており、こちらも大変興味深いと感じました。

ゴーカートにも一人でしたがチャレンジさせていただきました。カーブも何か所もあり、スピードに緩急をつけることができ、ハンドル回しなど大変楽しく魅力的でした。若い頃に、ソアラのツインターボ車を愛車としておりました。車体からの見える景色の角度が似ており、懐かしく思いながら、カートを楽しませていただきました。低身長のため、足がアクセルを前回に踏み込むことができない状況でしたが、背中にクッションを入れていただき、ご配慮もいただき、なかなか優しい受付の方だったなと感謝しております。

何事にも大人も全力で楽しむこと、夢中になり、心が満たされるような感情を表に出す姿を見せること。教育とは、大人の後ろ姿にあると思います。大人って楽しそうだなと思える感覚が地域教育の魅力でありたいと思います。以上です。

佐倉教育長 ありがとうございます。続いてお願いします。

小松委員 私からは、報告を2点させていただきます。まず1点目です。先ほど碓井職務代理が報告されておりましたサマースクール公民館に私の子どもたちが参加しまして、8月1日の総合文化センターと8月7日のえんてらすと、両日とも参加しまして、1日のほうは、私も子どもとは別の講座を受講してきました。人気の講座は、先ほどおっしゃられたように、抽選となって参加できないものもあったのですが、代替講座を用意していただいて、そちらのほうに参加させていただいて、2日間、様々な体験をすることができました。本当にたくさんの子ども、大人の方が参加してまして、大変にぎわっていました。

2点目です。8月6日に 東地区センターで「こども・若者いけんひろば」が開催され、傍聴させていただきました。これは今年8回開催される「こども・若者いけんひろば」の出張版でして、その日、学習ひろばに出席している子どもたちで、小学2年生から中学1年生まで計 18 名が参加し、学習ひろばの活動内容をより充実させるためのアイデアを出し合い

ました。テーマは、1 学習ひろばのいいところ・いやなところ、2 学習ひろばでやってみたいこと、この2つについて話し合いました。年齢の近い子が一緒になるようにグループ分けされて、お菓子を食べながら楽しい雰囲気の中、進められました。意見を書き込んだ付箋がどんどん用紙に貼り付けられていって、最後に代表の子どもが発表して、各グループの意見を聞き合いました。身近で分かりやすいテーマがよかったのか、低学年の子どもからも活発に意見が出ていました。今回のように、子どもが集まっている場所に出向いて、いけんひろばを開催するというのは、とてもいいアイデアだなと思いました。以上です。

佐倉教育長 ありがとうございます。

委委員 私からは、今、教育委員の皆さんで、来月行われる総合教育会議に向けて勉強会をしています。その中のテーマの一つとして、不登校の子どもに対する支援をどうするかということを経験しているのですが、去年、今年、不登校が増えているという中で、来週には夏休みが明けます。とかく夏休みの後、不登校気味になってしまう児童生徒が多いということを経験を、教育委員会の皆さんとそういった意識を持って、各学校を注視しながら夏休み明けを迎えたいなというふうに思っています。以上です。

佐倉教育長 そのほか、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

○報告第1号 主な行事等報告について

佐倉教育長 それでは、報告第1号、主な行事等報告についてお願いいたします。資料1ページから6ページです。事務局より主要な行事について説明をお願いいたします。

矢澤市民交流センター長（図書館長） それでは、私からは市民交流センターと図書館の行事報告をまとめさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

まず1ページを御覧ください。一番上の段からお話をさせていただきます。壁柱利用促進事業「e r i ～ s i l e n t l e t t e r ～展3」ということで、市民交流センターの壁柱を利用した文化芸術の交流の場を創出するため、アーティストを招致した展示会を行い、壁柱利用をPRさせていただきました。今年で3回目となりますアーティストのe r i さんによる絵画展を開催し、毎回、大変好評で、多くの来場者の心を引きつけました。市民交流センターで展示会を行うことによって、文化芸術への関心を高め、芸術鑑賞をできる場、また、個人でも芸術などを披露できる場として、皆さんに知っていただいて、定着させていきたいというふうに考えております。

下の段、みんなのがん教室@図書館ということで、第2回「保健室の先生に聞くがんのこと」には、14名の参加をいただいております。市民団体ががんサポートおむすびとの共催による、がんについてやさしく学べる連続講座となっております。今年度2回は、養護教諭による講座形式で、普段子どもたちへ行っているがん教室を基にがんについて学ぶ講座を行いました。当日通りかかって参加してくれた方もいらっしゃって、太陽のコート、児童コーナで行っている意図が徐々に周知でき、使っていただけるようになってきていると考えております。図書館でがんについて知っていただくことができ、困ったときに情報を得られる場所であるということを知るきっかけになってきているのではないかと感じております。

引き続きまして、2ページを御覧ください。7月21日、ちょこっと理科読ということで、70名の参加をいただいております。読み聞かせと併せて、実験と工作を行いました。ちょこっと理科読、「音のふしぎ」をテーマに開催をしております。小学生を対象に実施しまして、

楽しくお話を聞いてもらうことができました。工作では手作りのサックスと一緒に作り、お土産として持ち帰ってもらうことができました。会場での本の貸出しは行いませんでしたが、終了後、楽器を持って図書館に来ていただける方が多く、本に興味を持ってもらうこともできたと考えております。

7月26日土曜日ですけれども、しおり部ということで8名参加をしていただきました。今年度3回目の開催となっております、1年間を通して活動を行う中での3回目となっております。しおり部主催で開催しますイベントの内容、場所、日時等を話し合い、8人参加していただいた中で、なかなか話し合いは難航したのですけれども、内容、日時などを絞ることができました。初参加の学生もいて、出席人数は多かったのですけれども、参加者同士がお互いを覚える機会にもなったと考えております。

引き続きまして、3ページを御覧ください。7月26日土曜日、えほんDAY！として、3課合同事業で開催しております。北部交流センターで毎年開催しております、公民館、子育て支援センター、図書館の合同イベントで開催いたしました。合計で121人参加いただいております。子育て支援センター内で午前中、一番初めに、小さい子向けおはなし会を開催しました。引き続き、101、102会議室で、絵本であそぼう！ということでイベントを開催し、絵本作家等も飛び入りで参加していただくなど、大人から子どもまで楽しく聞いていただくことができました。午後の部ではスペシャルおはなし会として、大勢の子どもたちに、絵本専門士の方たちに来ていただいて、本の読み聞かせを行いました。本に興味を持ってもらうことができたのではと考えております。

引き続きまして、4ページと5ページの上段を御覧ください。7月27日、えんぱーく開館15周年記念イベントということで、3課合同で行っております。来館者数でいいますと、その時間帯で1,898人の方の来場をカウントしております。えんぱーく開館15周年を記念しまして、開館日が7月29日ですので、その直近の日曜日の7月27日に開催いたしました。市民交流センター、図書館、子育て支援センターと連携をしまして、それぞれ工夫をこらしたイベントを開催させていただきました。

市民交流センターではマルシェのほか、信州大学農学部自然科学研究会の協力により、いきもの展を開催しました。野鳥の映像を上映したり、野生動物の毛皮、骨格標本などを展示させていただいたりですとか、多種多様な昆虫やきのこ、写真展示など、ふだんなかなか目にすることができない貴重な資料を取りそろえ、これまでにないブースを設けることができました。図書館では、親子向けの絵本専門士によるおはなし会と、大人におすすめの絵本読み聞かせ等を行いました。また、子育て支援センターは、図書館と共に、児童コーナーでおはなし会を開催いたしました。玄蕃まつりの翌日だったこともあり、集客を心配しておりましたが、多くの親子連れに参加していただいております。

続きまして、7月31日、ビジネス情報相談会とミニセミナーということで、創業・副業開始準備セミナーに5名の方に参加いただきました。こちらの担当課が市民交流センターとなっておりますけれども、図書館の間違いですので、申し訳ございませんでした。塩尻市立図書館と長野県よろず支援拠点が連携し、ビジネス情報相談会を月に3回、そのうち1回はミニセミナーも実施しております。創業・副業に興味のある方向けに準備や補助金の説明をよろず支援拠点のコーディネーターが実施させていただきました。個別の相談を予約されている方もいらっしゃるようで、その後の相談につながっております。

8月1日、信州しおじり本の寺子屋、清水智さん講演会において、「C a n v a f o r E d u c a t i o nで創る学びやすさ・働きやすさ」を開催し、101名の方に参加していただいております。C a n v aというのは、ウェブでデザインができるツールになっております。最近、2017年頃に日本でリリースされまして、かなり浸透してきております。また、このE d u c a t i o n、学校教育版のものがございまして、そちらは生徒や先生が無料で使うことができるものになっております。そちらを伝道師のように、いろいろな方に使い方を伝えるティーチャーアンバサダーの清水智さんを講師に招きまして講演会を開催いたしました。

今年度は、教育センターの研修の一環ではなく、図書館で主催の学校職員向けの講座として開催いたしましたところ、当初80名の予定で募集をかけておりましたが、早期に定員に達したため、増やして開催をいたしました。ながの電子申請のみで申込みを受け付けましたが、教員向けだったこともあり、大きな混乱はございませんでした。半数以上が初めての参加者でしたけれども、満足度が高く、興味関心のある分野について知ってもらうことができる講演会となりました。私からは以上となります。

古畑文化財課長 私からは、短歌館の行事2件について御報告いたします。まず2ページを御覧ください。中段、7月26日土曜日の短歌愛好者のつどい、全3回中の2回目ということで、短歌館で開催いたしました。参加者は24名で、短歌を始めてみたい方、初心者の方や、ふだん短歌会等で短歌づくりをしている方がそれぞれ詠んだ短歌1首を持ち寄って交流をするという内容のものでございます。成果としましては、塩尻市、本市だけでなく、近隣の市町村からも参加者がいました。投稿歌はバラエティー豊かな作品がそろいまして、ふだん新聞や雑誌等で投稿している、名前は知っているけれども会ったことのない人たちが出会う場となって、新たな交流が生まれるきっかけとなりました。

続きまして、6ページになります。8月3日日曜日、塩尻短歌大学第138講、吉川宏志さんの講義ということで、「短歌史のなかで今を見つめる」という題で行いました。会場は北部交流センターで行いまして、参加者72名でございました。短歌結社「塔」を主宰する吉川さん、今回初めて短歌大学にお迎えをしまして、過去の短歌を学ぶことの大切さや楽しさについて、用意していただいた資料を基に具体的にお話をいただきました。これまでの短歌大学の講義とは異なる視点から短歌について学ぶことができ、過去の短歌から学ぶ姿勢が必要であるという吉川さんの情熱あふれる講義に、参加者の方が引き込まれているような姿が見られました。私からは以上です。

佐倉教育長 委員の皆さんから御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

八島委員 2点お願いします。「ちょこっと理科読」ですが、工作で手作りサックスと一緒に作るとありますが、素材は何で作られたのか、あと、それに伴って参加費はどれくらいかかったのなを教えてください。

矢澤市民交流センター長（図書館長） ありがとうございます。素材は紙コップ等でございます。それで、音の出るところを調節することによって音階が変わるという。参加費は、当然図書館でやっていますので、無料でやらせていただいております、かなり喜んで帰っていただきましたので、大変好評だったと感じています。

八島委員 ありがとうございます。とても興味深く、私も作成してみたかったなと思いました。もう1点、信州しおじり本の寺子屋、清水智さんの講演会ですが、実は私、清水智さんと

は以前より個人的にお付き合いがあります。今回、御講演をされた感想をいただいておりますので、発表をさせていただきたいです。

今回、本の寺子屋で定員を増やしていただき、対応に感謝しております。塩尻市教育委員会やえんぱーくとの連携も非常に興味深く、今後も伴走させていただけると大変うれしく思う限りです。実はプライベートでも、後日、塩尻市立図書館へ子どもと行きました。造りと蔵書の数の多さ、さらに駄菓子屋、魅力たっぷりでした。といただいております。

矢澤市民交流センター長（図書館長） ありがとうございます。プライベートで後で来られたときに、お子さんを連れながら、2階の総合受付に来ていただいて、御挨拶させていただいて、今日は妻が来ていないのでまた来ますと言っていたので本当にありがたかったです。来ていただいた方たちにも大変好評な講座だったので、これからはいろいろ聞かれたこととか、これから課題になってくるようなことも一緒に考えさせていただければと思っています。ありがとうございます。

佐倉教育長 そのほかよろしいでしょうか。

小松委員 2ページ目の「ちょこっと理科読」に、私も参加させていただきました。たくさんの親子が参加されていて、どの親子も楽しそうに読み聞かせを聞いたりですとか、ストローと紙コップでサックスを作ったりしていました。こういった体験しながら学べるイベントは、子どもも興味を持って考えたり、絵本を読んだりするきっかけにもなると思いますので、準備など大変だと思いますが、今後も、また続けて開催していただきたいなと思います。

1点気になったことがありまして、会場が狭く感じたことです。シートの上にみんな座って話を聞いたり工作をしたりしたのですが、スペースに余裕がなくて、狭く感じたので、できれば3階の多目的ホールの使用ですとか、開催を2回に分けて行ってもよかったのではないかなと思いました。

矢澤市民交流センター長（図書館長） ありがとうございます。イベントホールでの開催だったこともありまして、なかなか会場的な広さは確かに小さいかなというふうに感じたところもありました。会場を早めから押さえるような形を取りながら、多目的ホールとかでやると、よりやりやすいかなと思っていますので、今後は会場のことにも気を遣いながらやらせていただければと思っていますので、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

佐倉教育長 そのほかよろしいでしょうか。

ほかにないようでしたら、次に進みます。

○報告第2号 9月の行事予定等について

佐倉教育長 報告第2号、9月の行事予定等についてお願いいたします。資料の7ページになります。全員に関わるものは、26日に定例教育委員会・総合教育会議及び協議会がありますので、皆様の御出席をお願いいたします。また、7日、14日、29日に本の寺子屋講演会、15日にしおじりこども・若者意見ひろば、20日に木育フェスティバルが、いずれも市民交流センターで予定されておりますので、御都合がつくところがありましたら御参加いただければと思います。

この点について御質問等ありましたらお願いいたします。よろしいですか。

それでは、次に進みます。

○報告第3号 後援・共催について

佐倉教育長 報告第3号、後援・共催についてです。資料の8ページから10ページになります。見ていただきまして、委員の皆さんから御質問、御意見がありましたらお願いいたします。よろしいですか。

それでは、次に進みます。

4 その他

○その他第1号 令和7年度全国学力・学習状況調査結果の公表について

佐倉教育長 続きまして、本日は議事案件がございませんので、その他案件に進みます。その他第1号、令和7年度全国学力・学習状況調査結果の公表について、資料は11ページになります。事務局より説明をお願いいたします。

上條学校教育課長 それでは、資料11ページ、資料No. 4を御覧ください。令和7年度全国学力・学習状況調査結果の公表方法につきましては、市教育委員会では、これまでと同様に、結果概要や分析結果を公表することとし、市全体の平均正答率数値や個々の学校名を明らかにした公表は行わないことといたしました。

また、学校においては、保護者や地域住民に対して、これまでと同様に、結果概要や分析、学校の取組等について、自校の状況を公表することとしております。

経過及び今後の予定につきましては、7月31日に文部科学省から結果通知があり、市教育センター及び各学校において分析等を行っております。9月26日、次回の市教育委員会協議会において、公表内容等を説明の上、10月30日の市定例教育委員会において公表内容等を協議いただき、12月1日に公表する予定でございます。説明は以上となります。

佐倉教育長 委員の皆さんから御質問、御意見ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

ないようですので、説明のとおり御承知おきください。

それでは、本日予定されていた案件は以上ですが、そのほか、委員の皆様から何かありましたらお願いいたします。

そのほか、事務局から何かありましたらお願いいたします。よろしいですか。

進行に御協力いただきましてありがとうございました。

5 閉会

佐倉教育長 それでは、以上をもちまして8月定例教育委員会を閉会といたします。この後、教育長室にて協議会を行いますので、よろしくお願いいたします。

○ 午後2時16分に閉会する。

以上

令和7年8月21日

署 名

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員 学 校 教 育 課
教 育 企 画 係 長
